

本州四国連絡高速道路（株）入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	2026年1月29日（木） 本社11階 会議室	
出席委員	友廣 隆宣（弁護士） 八木 知己（大学教授） 澁川 和彦（大学教授）	
審議対象期間	2025年4月1日～2025年9月30日	
抽出案件	抽出案件 4件	件名
条件付一般競争	2件	・令和6年度鳴門管内舗装補修工事（その2） ・令和7年度尾道管内舗装補修工事
随意契約	1件	・2025年度交通管制・施設監視中央局設備補修工事
少額随意契約	—	—（案件数なし・別紙に審議内容のみ記載）
グループ会社契約	1件	・2025年度坂出管内長大橋機能保全業務
委員からの意見・質問、それに対する応答等	意見・質問	回答
	・別紙のとおり	・別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・意見の具申又は勧告はなかった。	

意見・質問	回答（説明を含む）
<p>①入札方式別発注業務について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	
<p>②指名停止等運用状況について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	
<p>③条件付一般競争（令和6年度鳴門管内舗装補修工事（その2））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術評価点の高い者が辞退した理由を把握しているか。</li> <li>・辞退により結果1社入札となっている。</li> <li>・例えば、工事規模を拡大すれば大手の参入が増えたりする可能性があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後日の聞き取り調査の結果、他機関発注工事の受注により技術者の配置が困難となり辞退したとのことです。</li> <li>・入札広告のダウンロードは13者あり、一定の関心があったことは確認しています。</li> <li>・スケールメリットの課題よりは技術者の配置調整など企業側の事情もあって少なかったものと思われます。</li> </ul>
<p>④条件付一般競争（令和7年度尾道管内舗装補修工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術評価点の高い者が調査基準価格を下回り価格点0点となったため、結果、技術評価点の低い者が落札者決定されている。応札状況を教えてほしい。</li> <li>・技術評価点が低い業者による施工の妥当性は。</li> <li>・入札参加者は競合状況を把握できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札価格が調査基準価格をわずかに下回り、価格点0点となりました。価格の積算が比較的容易な工事であり、価格点を満点近く狙ったが、結果的に調査基準価格を下回ったものと思われます。</li> <li>・参加資格要件で一定規模の実績等を有する企業に限定しており、施工能力や施工品質への問題はないと考えています。</li> <li>・電子入札のため、入札者は競合状況を把握できません。</li> </ul>
<p>⑤随意契約（2025年度交通管制・施設監視中央局設備補修工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の契約業者以外に対応可能な企業はあるか。</li> <li>・予定価格の考え方を確認したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に一般競争入札で複数者が参加した実績があります。本工事は、既存システムの機器更新であり、既存ソフトをそのまま利用する必要があるため、前回構築した契約業者が最適と判断しました。</li> <li>・機器製造部分は業者見積、据付などは本四の歩掛を用いて予定価格を設定しています。</li> </ul>

**⑥グループ会社契約（2025 年度坂出管内長大橋機能保全業務（ケーブル機能保全（ハンガーロープ定着部補修））**

- ・ハンガーロープ定着部の補修計画を確認したい。

**⑦少額随意契約**

- ・抽出基準と不正防止策との関係を確認したい。
- ・業者接触の防止策を確認したい。
- ・完了検査の第三者性確保はどうなっているか。

**⑧子会社の外注の状況（ハンガーロープ定着部補修工事）**

- ・特になし

- ・今回の補修は、全てではなく一部を実施している。30年程度をかけて順次補修する計画です。

- ・初回のため、本社・鳴門管理センター・今治管理センターから抽出しました。不正要因に着目して確認したものです。

- ・見積依頼をランダム送付する「見積支援システム」を翌年度7～8月頃導入予定としています。メール等を活用し、接触機会を軽減します。

- ・完了検査は、発注担当課以外の部署が実施する仕組みとし、第三者性を確保します。